子ども虐待防止
オレンジリボン運動

令和8年度 山梨県オレンジリボンキャンペーン

主 催：社会福祉法人 山梨立正光生園
共 催：山梨県
後 援：山梨県教育委員会、公益財団法人 SBI子ども希望財団
公益財団法人 山梨県私学教育振興会、山梨県保育協議会

YAMANASHI

参加無料

令和8年度
子ども家庭ソーシャルワーク専門職養成研修（全10回）

『知っていれば、できることがある
子どものトラウマを理解し、安全な大人になるために』

11月19日（木）13:30～15:30 …申込締切 11月12日（木）

講師 ： 亀岡 智美 氏（兵庫県こころのケアセンター 副センター長）

普通の会話なのにけんか腰、突然キレる、意欲が湧かない……。その背景には、子どものこころのケガ（トラウマ）が隠れているかもしれません。子どもへの支援ではまず、その可能性を踏まえた対応が求められています。本講は、児童精神科医として「トラウマインフォームドケア」を実践されている亀岡先生に、その基本的な考え方と具体的な関わり方についてお話を伺います。

児童青年期精神科医。大阪府立病院、大阪府立中宮病院松心園、大阪府こころの健康総合センターを経て，2012年より現職。
主著は『子ども虐待とトラウマケア』（単著 金剛出版，2020）、『子どものトラウマとPTSDの治療』（共編 誠信書房 2021）、
『子どものPTSDのアセスメント』（単著 誠信書房 2022）、『実践トラウマインフォームドケア』（編著 日本評論社 2022）。

参加方法 ： 会場にて対面 もしくは ZOOMオンライン

会場 ： 地域総合子ども家庭支援センター・テラ 研修棟
（山梨県甲府市伊勢3丁目8−8 ）

対 象 山梨県内外の児童福祉施設等の職員、県市町村の関係課職員、保育所・幼稚園・認定こども園・小中高等学校ならびに特別支援学校の教職員、里親、その他子ども家庭の福祉・医療・司法等に携わる方

研修の目的

いじめ、不登校、ひきこもり、非行など、子どもや若者が抱える困難は、さまざまな要因が複雑に絡み合って現れます。また、児童虐待の相談対応件数が増加する昨今、本人へのアプローチにとどまらず、養育環境の調整や社会的養護の対応など、保護者を含めた重層的な支援が不可欠となっています。『平成28年改正児童福祉法』では子どもを「権利の主体」と明定し、その理念を社会に実装するために『新しい社会的養育ビジョン』が策定されました。これにより、家庭への養育支援と社会的養護のあり方は大きく転換し、『こども基本法』や『こども大綱』へと受け継がれています。

こうした背景を踏まえ、現場では「子ども・若者や子育て当事者を支える人材の確保・育成」と「地域における包括的な支援体制の構築・強化」が強く求められています。そこで、本研修は『新しい社会的養育ビジョン』が提起する「ソーシャルワークの文脈の中で、子どもたちの抱える発達課題を明確化（アセスメント）し、解決へと導く専門性の向上」を目指して、地域における包括的支援に貢献する人材を育成し、確かな実践力へとつなげることを目的とします。

お申込み方法

参加ご希望の方は、右記QRコードもしくは
以下URLよりお申し込みください。
http://y-risyou.ed.jp/publics/index/34/

お申し込み用 QRコード

お問い合わせ先　社会福祉法人 山梨立正光生園 地域総合子ども家庭支援センター・テラ
子ども家庭ソーシャルワーク専門職養成研修・研究所　055-222-8012

子ども家庭福祉に関する専門性を高めるためのセミナーです。

主 催:社会福祉法人 山梨立正光生園
後 援:山梨県、山梨県教育委員会、
公益財団法人 SBI子ども希望財団
公益財団法人 山梨県私学教育振興会、
山梨県保育協議会

現地＋ZOOMオンラインの
ハイブリッド開講　**参加無料**

令和8年度

子ども家庭ソーシャルワーク専門職養成研修

研修の目的

いじめ、不登校、ひきこもり、非行など、子どもや若者が抱える困難は、さまざまな要因が複雑に絡み合って現れます。また、児童虐待の相談対応件数が増加する昨今、本人へのアプローチにとどまらず、養育環境の調整や社会的養護の対応など、保護者を含めた重層的な支援が不可欠となっています。『平成28年改正児童福祉法』では子どもを「権利の主体」と明定し、その理念を社会に実装するために『新しい社会的養育ビジョン』が策定されました。これにより、家庭への養育支援と社会的養護のあり方は大きく転換し、『こども基本法』や『こども大綱』へと受け継がれています。

こうした背景を踏まえ、現場では「子ども・若者や子育て当事者を支える人材の確保・育成」と「地域における包括的な支援体制の構築・強化」が強く求められています。そこで、本研修は『新しい社会的養育ビジョン』が提起する「ソーシャルワークの文脈の中で、子どもたちの抱える発達課題を明確化（アセスメント）し、解決へと導く専門性の向上」を目指して、地域における包括的支援に貢献する人材を育成し、確かな実践力へとつなげることを目的とします。

対　象

児童福祉施設等の職員、里親、県市町村の関係課職員、
保育所・幼稚園・認定こども園・小中高等学校ならびに特別支援学校の教職員、
その他子ども家庭の福祉・医療・教育・司法等に携わる方

全10回開催（11月～3月）

各回の定員　現地参加 60名まで
ZOOM参加 200組まで
（ZOOM参加は原則、山梨県外の方とさせていただきます。但し、第2回を除く。）
※いずれも先着順

※ 一部の回だけの参加も可能です。 ※ 回ごとにお申込みください
※ 本研修は、認定資格「こども家庭ソーシャルワーカー」取得の指定研修ではありません。

回	日程	テーマ	講師	申込〆切
第1回	令和8年11月5日(木) 13：30～15：30	現代社会の子ども家庭をめぐる問題：子どもは社会の未来	加賀美 尤祥 氏 社会福祉法人 山梨立正光生園 理事長	10月29日(木)
第2回	令和8年11月19日(木) 13：30～15：30	知っていれば、できることがある：子どものトラウマを理解し、安全な大人になるために【共催：山梨県】	亀岡 智美 氏 兵庫県こころのケアセンター副センター長	11月12日(木)
第3回	令和8年12月6日(日) 10：00～12：00	思春期・青年期の”問題”行動の背後にあるアタッチメント不全とトラウマ	笠原 麻里 氏 駒木野病院 副院長	11月29日(日)
第4回	令和8年12月19日(土) 13：30～15：30	発達性トラウマ症と発達障害：理解と対応	杉山 登志郎 氏 福井大学 客員教授	12月12日(土)
第5回	令和9年1月12日(火) 10：00～12：00	乳幼児から成人へのアタッチメント形成の支援	青木 豊 氏 あおきメンタルクリニック 代表	1月5日(火)
第6回	令和9年1月21日(木) 10：00～12：00	子どもの脳の発達と虐待対応	友田 明美 氏 福井大学 特命教授	1月14日(木)
第7回	令和9年2月5日(金) 13：30～15：30	性虐待への対応	山田 不二子 氏 認定NPO法人チャイルドファーストジャパン 理事長	1月29日(金)
第8回	令和9年2月18日(木) 13：30～15：30	パーマネンシーと社会的親のあり方	畠山 由佳子 氏 関西学院大学 教授	2月11日(木)
第9回	令和9年3月4日(木) 10：00～12：00	子ども家庭福祉における子どもの権利擁護	吉田 恒雄 氏 駿河台大学 名誉教授	2月25日(木)
第10回	令和9年3月19日(金) 13：30～15：30	こども真ん中社会での養育を考える	奥山 眞紀子 氏 子どもの心のクリニック・テラ 院長	3月12日(金)

お申込み方法

参加ご希望の方は、**右記QRコード**
もしくは**以下URL**よりお申し込みください。
http://y-risyou.ed.jp/publics/index/34/

お申し込み用QRコード

お問い合わせ先　社会福祉法人 山梨立正光生園 地域総合子ども家庭支援センター・テラ
子ども家庭ソーシャルワーク専門職養成研修・研究所　055-222-8012